



JSQC ニュース

No.387

CONTENTS

- 1-トピックス 創立50周年記念シンポジウムについて
- 2-私の提言 QFDがコトづくりコレクションに選出されました!!
- 2-ルポルタージュ JSQC規格「プロセス保証の指針」講習会ルポ
- 3-第50年度 品質管理推進功労賞推薦のお願い/2020年11月の入会者紹介
- 4-行事案内/論文募集/会員登録情報 更新のお願い

発行 一般社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

創立50周年記念シンポジウムについて

50周年記念事業実行委員会WGリーダー 金子 雅明

ご承知の通り、昨年2020年10月より本学会は1970年の設立から50期に突入しましたので、それを記念して50周年記念事業を推進いたします。記念事業は大きく5つの柱に分かれており、

- ・40期からの10年間の学会活動の軌跡をまとめた記念誌「あゆみ」の発行
- ・記念シンポジウム、祝賀会の開催
- ・インパクトファクター付き論文誌への改革
- ・品質管理の意味や重要性を世の中に広く普及するキャラバン活動の実施
- ・会員サービス機能向上のためのHPや行事管理システムの刷新

です。なお、これまでの各周年事業において行っておりました寄付金事業については、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大による社会への影響の甚大さを鑑みて、積極的な推進は控えました。その一方で、大変ありがたいことに、少なくない個人会員の方々から本学会への支援として寄付したいというお申し出がありましたので、個人会員向け寄付金窓口を設け、本年1月お手元に送付しました品質誌のVol.51, No.1にその案内を同封しました。

さて、去る2月12日付で50周年記念事業の一環として学会HPが大幅にリニューアルされ、そのHPで、創立50周年記念シンポジウム・祝賀会の概要が公開されました。本記念シンポジウムは学会員をはじめ、本学会の関係者・

団体、諸先輩方への深い感謝の意を表すとともに、本学会の今後の発展と目指すべき方向性を共有する場として開催することとしました。

新型コロナを始めた企業を取り巻く環境が劇的に変化する中で、いかに生き残りをかけた経営を行い、明るい将来に向けて飛躍することができるのか、そのために当学会が追求する品質管理、品質経営学が企業や社会に対していかに貢献すべきかについて、この50周年を契機として学会員の皆様としっかりと考えていきたいと思えます。その意味で、本シンポジウムテーマとして『激動する時代に飛躍する未来志向の品質経営』を掲げました。開催日時は2021年5月28日(金曜)の13:00~17:35で、シンポジウム後に祝賀会も18:00~20:00で予定しております。

シンポジウムプログラムでは、まず二橋岩雄会長から開催の挨拶と趣旨説明があり、永田靖副会長から40期からの10年間の主たる学会活動の紹介があったのち、本学会が今後果たすべき役割について二橋岩雄会長が再度登壇し、お話しいただきます。その後は、本シンポジウムテーマに沿って3名の講演者をお招きし、下記のテーマで講演いただく予定です。

- ・これからの時代の“品質”~DX時代のエクセレントサービス：前田建設工業株式会社 常任顧問 小原 好一氏
- ・価値デザイン社会の実現に向けて(仮)

：内閣府知的財産戦略推進事務局 参事官 小林 英司氏

・変化の時代における品質経営へのアプローチ (仮)：東京理科大学名誉教授 狩野 紀昭氏

講演後は上記の講演者をパネリストとして「これからの品質経営と本学会が果たすべき役割とは？」をテーマにパネル討論会を行います。最後に、若林宏之副会長から閉会の辞を述べさせていただきます。

会場は早稲田大学大隈記念講堂小講堂です。最寄り駅は東京メトロ東西線早稲田駅で、徒歩5分の距離です。JR山手線・高田馬場駅からも都バスやタクシーなどでご来場いただけます。また、都合により会場に来たくても来れない方や、同一組織内で多数の方に聴いてほしいと考えられている方向けに、対面のみならずオンライン配信も行う予定です。さらに、当日の記念シンポジウム参加者は祝賀会に無料でご招待いたしますので、併せてご参加いただければ幸いです。

参加申し込みは、以下の専用サイトからお願いいたします。

https://jsqc.org/50th_anniversary_symposium_news/

なお、本シンポジウム及び祝賀会については新型コロナ感染対策を実施の上、国や政府の方針、ガイドラインに沿って運営いたします。たくさんの方々のご参加を心よりお待ちしております。

● 私の提言 ●

QFDがコトづくりコレクションに選出されました!!

山梨大学 渡辺 喜道



横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）では、コトづくりの重要性の訴求及びその振興

活動の一環として「コトづくりの見える化」と「社会への働きかけ」を目的に、優れた事例の顕彰と分析を行う「コトづくり至宝発掘事業」を2018年度より実施しています。当学会は2020年5月に開催された第459回理事会において、品質機能展開（QFD）をこの事業に推薦することを決めました。2020年6月に推薦書を提出し、10月に開催された第11回横

幹連合コンファレンスで発表し、コトづくりコレクションとしてふさわしいかどうかの審議を受けました。その結果、コトづくりコレクションに内定しました（正式な発表は2021年4月です）。審査基準は、先導力、規範力、意味力、解決力の4つの基準を中心とした「社会にもたらした価値」があるかどうかでした。この基準で選出されたQFDは改めて素晴らしい技術と感じました。なお、当学会が推薦し、2018年に選出されたコレクションであるQCサークル活動（小集団改善活動）に続き、2つ目の登録となります。

ご存知の通り、QFDは顧客の要求を確実に満たせるような製品やサービス

の品質を企画、設計段階から作り込むことができ、確実な品質保証体制を構築でき、類似製品の早期立ち上げにも貢献できる画期的な技術です。このような素晴らしい技術がコトづくりコレクションに選ばれたことを大変うれしく思います。

近年、デジタルトランスフォーメーション（DX）が注目されています。Society 5.0の到来を前に、多くの組織で、DXが推進されています。DXにより、組織はビジネス環境の激しい変化に対応でき、データやデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズに基づいて、製品やサービス、ビジネスモデルを変革でき、さらに業務そのものや、組織、プロセス、組織文化・風土を変革することが可能となります。QFDはDXを支える技術として有効活用できると信じています。QFDの更なる普及拡大のためにも、デジタル技術と融合したQFDの利活用が重要と考えます。

JSQC規格
講習会
ルポプロセス保証の指針
「品質はプロセスで作りこむ」

2021年2月25日(木)午後、JSQC規格「プロセス保証の指針」講習会がオンラインで開催された。参加者数は62名、このうち関東地区以外からの参加が半数程度を占めており、オンライン化により遠方からも講習を受けやすくなったことが伺えた。

齊藤事業・広報委員会委員長からの開会挨拶に続いて、「プロセス保証の指針」原案作成委員会の山田秀委員長より講演が進んだ。規格制定のねらい、プロセス保証の役割と構成要素といった全体像が冒頭で説明された後、プロセス保証の5つの構成要素である「標準化」「工程異常への対応」「工程能力の調査・改善」「トラブル予測・未然防止」「検査・確認」それぞれについて解説された。プロセス保証の基本・進め方・ツールの下位に5要素が属する構成となっている規格とは異なる順序で、要素ごとに基本・進め方・ツールが説明され、各要素の理解を促すよう工夫されていた。ま

た、規格自体は、あらゆる産業をカバーするよう一般的表現で記述されているが、解説では現場や身近なモノの具体例が交えられ、聞き手が規格を解釈しやすいものであった。

最後の全体討論（質疑応答）では、齊藤事業・広報委員会委員長の司会により進められた。「問題発生時、防止策検討など社内外でどう対応すべきか」、「標準の見直しを行う仕組みはどのようなものが良いか」、「工程FMEAにおける対策後、標準とするタイミングはどのように判断したらよいか」「目視検査でのエラーブールフはどのように行うのか」「FMEAにおけるモードの抽出はどのように行うのか」「医療現場では、プロセス保証の構成要素のうちどれから、またはどのように取り組むべきか」などの質問や意見が示され、司会・講師・受講者間での意見交換がなされた。

終了時のオンラインアンケートでは、十分あるいはほとんど理解できたという回答が大半を占め、受講者にとってプロセス保証に関する体系的理解を深める機会であった。

下野 僚子（東京大学）

第50年度 品質管理推進功労賞 学会員の皆様 候補者の推薦をお願いいたします！

日本品質管理学会品質管理推進功労賞は、品質管理推進に尽力されている多くの方々に活力を与え、品質管理の発展がより加速され、ひいては産業界の発展に寄与できることを願って創設されました。本年度は第21回となり、次の要領で実施いたしますので、奮ってご推薦の程お願いします。但し、推薦にあたっては次の点にご配慮ください。

- 1) 本賞選考の推薦は全てEメールにてお願いします。
- 2) 推薦に際しては、予め被推薦者の了解を得て、被推薦者本人の確認を受けた書類を送付してください。

記

本賞の授賞資格（品質管理推進功労賞内規）：

以下のいずれかの条件を満たす会員とする。

- 1) 企業・各種団体（以下、組織という。）に所属し、所属組織の品質管理の実践と推進に多大な貢献をした、もしくは、していると認められる者。
- 2) 組織に所属し、本会に対する多大な貢献があった、もしくはある者。
- 3) 組織に所属し、品質管理に対する造詣が深い者。
- 4) 本会の役員2名以上の推薦があった者。

本年度選考方針：

- a. 本年度は、既に本来の所属企業を退職している人も対象として含めるものとし、表彰対象者数は、6名以内とする。
- b. 地域・社会への貢献を重視する。
- c. 本賞対象者の推薦に際しては、55～65歳位を目安とし、70歳以上ならびに50歳以下は避ける。
- d. 本来の所属企業で取締役になった人は避ける（理事、執行役員は対象とする）。但し、子会社等へ出向し役員になった方は候補者に含めて差し支えないものとする。
- e. 50年度のJSQC理事は、今年度の推薦対象者から外す。
- f. 特定の企業に属さず個人として品質管理の普及・発展に著しく貢献する活動を長年行ってきた人を含む。

評価項目：

本賞の候補者に対して、主に次の観点から評価を行う。

【A】所属組織への貢献

- a 1 TQC/TQM/標準化/QCサークル活動等の推進
- a 2 品質管理に関する表彰・認証等の受審支援
- a 3 品質保証体制の確立
- a 4 その他特筆すべき活動

【B】地域・社会への貢献

- b 1 日本品質管理学会の発展

- b 2 デミング賞委員会/品質月間/関連学会等の活動を通じた品質管理の普及・発展
- b 3 標準化推進を通じた品質管理の普及・発展
- b 4 QCサークル活動の普及・発展
- b 5 日科技連/規格協会等の関係諸団体への協力を通じた品質管理の普及・発展
- b 6 品質管理に関する国際協力
- b 7 品質管理への深い造詣に基づく著作等の活動を通じた品質管理の普及・発展
- b 8 その他特筆すべき活動

推薦必要書類：

推薦書（様式219-1）、業績リスト（様式219-2）、上司等の推薦書（様式219-3、上司等とは、元・上司、現・関連部門長を含むものとする。候補者が選考方針fの場合、上司等とは品質管理について師事する者またはそれに相当する者を含む。）

様式については、下記Webページよりダウンロードしてください。

URL：<http://www.jsqc.org/2021ACPQM>

業績リスト（様式219-2）の業績については、左記の評価項目に対応した記述にしてください。

推薦締切：2021年6月30日(水)

推薦書類提出先：2021kourou@jsqc.org

選考：日本品質管理学会 品質管理推進功労賞選考委員会が行う

発表：9月に開催される本学会理事会での承認後、本人ならびに推薦者に通知

表彰：2021年11月13日(土)

第51回 年次大会 授賞式

連絡先：日本品質管理学会事務局

参考：<https://jsqc.org/award-for-contributing-to-the-promotion-of-quality-management/>

2020年11月の入会者紹介

2020年11月12日の理事会において、下記の通り正会員9名、準会員1名の入会が承認されました。

.....
(正会員9名) ○柄澤 宏・荒木 貴久
 (ひたちなか総合病院) ○浅野 陽一

(日本自動車研究所) ○和田 一義 (東京都立大学) ○王地 裕介 (SelfPlace)
 ○斉藤 裕之 (海外貨物検査) ○五十嵐 広希 (産業技術総合研究所) ○藤井 孝弘 (京都機械工具) ○寺前 勉 (三菱電機)

.....
(準会員1名) ○孟 成柱 (筑波大学)

.....
名誉会員：21名

正会員：1701名

準会員：92名

職域会員：52名

賛助会員：149社221口

賛助職域会員：11名

公共会員：17口

行事案内

●第122回クオリティトーク（東日本）

テーマ：ビッグデータ時代のデータリテラシー
 ゲスト：吉野 睦氏（デンソー）
 日時：2021年4月16日(金)18:00～20:00
 会場：Zoom会議室（オンライン）
 詳細・申込：<https://jsqc.org/122qtalk/>

●第127回QCサロン（関西）

テーマ：品質マネジメントにおける対話
 の有用性
 ゲスト：大原 悟務氏（同志社大学）
 日時：2021年4月20日(火)19:00～20:30
 会場：Zoom会議室（オンライン）
 申込先：関西支部事務局
 詳細：<https://jsqc.org/127qcsalon/>

●JSQC規格「小集団改善活動の指針」 講習会（東日本）

テーマ：小集団改善活動を推進する
 日時：2021年4月22日(木)13:00～17:00
 会場：Zoom会議室（オンライン）
 講師：村川 賢司氏（村川技術士事務所）
 申込締切：2021年4月15日(木)
 詳細・申込：<https://jsqc.org/20210422kousyukai-2/>

●JSQC規格「新製品・新サービス開発管理 の指針」講習会（東日本）

テーマ：顧客・社会のニーズをもとに新
 たな価値を創造する
 日時：2021年5月18日(火)13:00～17:00
 会場：Zoom会議室（オンライン）
 講師：中條 武志氏（中央大学）
 申込締切：2021年5月11日(火)
 詳細・申込：<https://jsqc.org/20210518kousyukai/>

●50周年記念シンポジウム

テーマ：激動する時代に飛躍する未来志
 向の品質経営
 日時：2021年5月28日(金)13:00～17:35
 会場：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂
 （同時配信あり）
 プログラム：
 1. 趣旨説明
 二橋 岩雄氏（JSQC会長）
 2. これまでのJSQC学会活動の紹介

永田 靖氏（JSQC副会長）
 3. JSQC学会が今後果たすべき役割とは
 二橋 岩雄氏（JSQC会長）
 4. これからの時代の”品質”
 ～DX時代のエクセレントサービス
 小原 好一氏（前田建設工業）
 5. 価値デザイン社会の実現に向けて(仮)
 小林 英司氏（内閣府）
 6. 変化の時代における品質経営の
 アプローチ(仮)
 狩野 紀昭氏（東京理科大学）
 7. パネル討論
 これからの品質経営と本学会が果た
 すべき役割とは？
 ファシリテーター：永田 靖氏
 パネリスト：上記講演者
 申込締切：2021年5月21日(金)
 詳細・申込：https://jsqc.org/50th_anniversary_symposium_news/

●第125回研究発表会（本部）発表募集

日時：2021年5月29日(土)
 会場：オンライン
 (1)申込期限
 発表申込締切：3月19日(金)
 予稿原稿締切：4月26日(月)必着
 参加申込締切：5月21日(金)
 (2)研究発表・事例発表の申込方法
<https://jsqc.org/125researchpresentationbosyu/>
 (3)参加申込
 3月中旬にホームページにてご案内します

●第2回特別座談会（東日本）

TQM推進の勘所—先人の知恵を借りる—
 日時：2021年7月9日(金)13:00～17:35
 会場：Zoom会議室（オンライン）
 プログラム：
 1. (株)ジーシーにおけるGQM推進の道のり
 武石 健嗣氏（元ジーシー）
 2. コニカミノルタ(株)におけるプロセス
 改善の推進
 須加尾 政一氏
 (Q&SGA研究所/元コニカミノルタ)
 3. ソフトウェア開発の定量化と成功要因
 の分析による改善活動の推進
 誉田 直美氏（イデソン/元日本電気）

「品質」誌、投稿論文の募集！

会員の方々からの積極的な投稿をお勧めします。投稿区分は、
 報文、技術ノート、調査研究論文、
 応用研究論文、投稿論説、
 研究速報論文、クオリティレポート、
 レター、QCサロンです。

論文誌編集委員会

会員登録情報 更新のお願い

2019年8月より会員登録情報は、インターネット上から確認・
 修正変更することができるよう
 になりました。
 転勤や異動など会員登録情報
 に変更がありましたら、「会員
 データベース(会員専用ページ)」
 より更新してください。

4. サンデンにおけるTQMの推進
 藤井 暢純氏
 (グローバル品質経営研究所/元サンデン)
 5. 座談会
 司会：中條 武志氏（中央大学）
 申込締切：2021年7月2日(金)
 詳細・申込：https://jsqc.org/2nd_zadankai/

事務局

JSQCホームページ：www.jsqc.org/
 本部：166-0003
 杉並区高円寺南1-2-1
 日本科学技術連盟 東高円寺ビル内
 E-mail：jimukyoku@jsqc.org
 中部支部：460-0008
 名古屋市中区栄2-6-1
 RT白川ビル7階
 日本規格協会 名古屋支部内
 E-mail：nagoya51@jsa.or.jp
 関西支部：530-0003
 大阪市北区堂島2-4-27
 新藤田ビル11階
 日本科学技術連盟 大阪事務所内
 E-mail：kansai@jsqc.org